

「アルプス処理水の海洋放出に反対する署名」 の取り組み

福島医療生活協同組合 わたり病院 放射線科
大橋 学

はじめに

- 政府は、2021年4月にアルプス処理水の海洋放出の方針を決定しました。

「関係者の理解なしには(処理水の)いかなる処分も行わない」としていた姿勢を全く無視したものです。

漁業関係者をはじめとした福島県民の多くは、海洋放出に対して納得をしていません。

福島医療生協では、福島県民の理解なしに進められようとしているアルプス処理水の海洋放出に反対する立場として署名活動を行っています。

活動について報告させていただきます。

署名推進のための取り組み

①理事・職員向け

理事からALPS処理水について理解を深めたいと要望があり開催
(2020/10/30)



署名推進のための取り組み

②組合員向け学習会



齋藤紀理事長が講師をつとめ、
約100名が参加 (2020/11/27)



要望書を県知事に提出

2021/1/29に福島県知事に要望書を提出、記者会見を開いた。
翌日の民報、民友に取り上げられた。



処理水処分で要望書

福島医療生活協同組合は29日、東京電力福島第1原発で保管中の放射性物質トリチウムを含む処理水の海洋放出に反対するよう求める要望書を内堀雅雄知事に提出した。

要望書では、処理水が海洋放出されれば本県の漁業が原発事故当時と同様の壊滅的打撃をばらけ、国民の十分な理解が得られていない状況での海洋放出には反対するよう求めた。

同日、斎藤紀理事長が県原子力安全対策課の伊藤繁課長に要望書を手渡した。

2021/1/30 民友

処理水放出反対
表明知事に要望
福島医療生活
協同組合が同
日、県庁で伊藤繁原子
力安全対策課長に要望
書を手渡した。要望書
では、処理水の海洋放
出は国民の理解を得て
おらず、本県漁業に壊
滅的な打撃を与えると
政府による処分方針決
定前に海洋放出への反
対を表明するよう要望
した。

2021/1/30 民報



海洋放出に反対するスタンディングに参加



2020/10/27



2021/2/12



2021/4/13



2021/4/13

2種類の署名

- **福島県知事に要請する署名**

(アルプス処理水海洋放出に反対の表明を求める署名)

- **衆参議長に要請する署名**

(アルプス処理水の海洋放出に反対する署名)

目標は全体で3万筆

県知事

2021年 月 日

福島県知事
内堀 雅雄 様

アルプス処理水海洋放出に反対の表明を求める署名

国は、福島県の漁業者、福島県民、そして広く国民の理解を得ないままアルプス（多核種除去装置）処理水の海洋放出を決定しました。

アルプス処理水の長期間の放出は、10年前に壊滅的打撃を受けた福島県の漁業を、ふたたび深刻な状況に陥らせることとなります。また大量のトリチウムを海洋に放出することは、海洋生態系への影響に関し未知であり、冷静な対応が求められています。

廃炉の完了と福島第一原発事故からの復興の道は長く、そのようななかでは、国と東京電力は口先だけでなく、覚悟をきめて、地元住民や被害を被った関係者との信頼関係をつくりあげなければなりません。しかし最初から「放出の先送りはできない」とし関係団体との対決をあらわにしています。最悪の事態といえます。

〈要請事項〉

県は「放出の先送りはできない」とする国と東京電力の姿勢に同調することなく、国と東京電力が地元住民や漁業者、関係者の気持ちをうけとめ信頼関係を構築するよう働きかけてください。現状でのアルプス処理水の海洋放出には反対であることを表明してください。

衆参議長

2021年 月 日

衆議院議長 様

参議院議長 様

アルプス処理水の海洋放出に反対する署名

国は、福島県の漁業者、福島県民、そして広く国民の理解を得ないままアルプス（多核種除去装置）処理水の海洋放出を決定しました。

アルプス処理水の長期間の放出は、10年前に壊滅的打撃を受けた福島県の漁業を、ふたたび深刻な状況に陥らせることとなります。また大量のトリチウムを海洋に放出することは、海洋生態系への影響に関し未知であり、冷静な対応が求められています。

廃炉の完了と福島第一原発事故からの復興の道は長く、そのようななかでは、国と東京電力は口先だけでなく、覚悟をきめて、地元住民や被害を被った関係者との信頼関係をつくりあげなければなりません。しかし最初から「放出の先送りはできない」とし関係団体との対決をあらわにしました。最悪の事態といえます。

《要請事項》

国は、これまでの10年間を振り返り、被害者との信頼関係が廃炉や原発事故からの復興の基本であるとの理解に立ち返ってください。信頼関係がなければ不信や不安を引き起こし、県民と漁業者との関係を一層こわすこととなります。アルプス処理水の海洋放出はしないでください。

現在までの到達

- アルプス処理水海洋放出に反対の表明を求める署名
(県知事あて)

830筆

アルプス処理水の海洋放出に反対する署名
(衆議院議長、参議院議長あて)

800筆

ご協力お願いします

最後に

多くの福島県民や国民の理解が得られない中での、アルプス処理水の海洋放出は、福島の漁業に壊滅的な打撃を与えることとなります。

本当の「安心・安全」のためには、海洋放出はあってはなりません。

私たちの海洋放出反対の意思を、国と県に届けましょう。

ご協力よろしくお願いたします

福島県知事
内堀 雅雄 様

アルプス処理水海洋放出に反対の表明を求める署名

国は、福島県の漁業者、福島県民、そして広く国民の理解を得ないままアルプス（多核種除去装置）処理水の海洋放出を決定しました。

アルプス処理水の長期間の放出は、10年前に壊滅的打撃を受けた福島県の漁業を、ふたたび深刻な状況に陥らせることとなります。また大量のトリチウムを海洋に放出することは、海洋生態系への影響に関し未知であり、冷静な対応が求められています。

廃炉の完了と福島第一原発事故からの復興の道は長く、そのようななかでは、国と東京電力は口先だけでなく、覚悟をきめて、地元住民や被害を被った関係者との信頼関係をつくりあげなければなりません。しかし最初から「放出の先送りはできない」とし関係団体との対決をあらわにしています。最悪の事態といえます。

《要請事項》

県は「放出の先送りはできない」とする国と東京電力の姿勢に同調することなく、国と東京電力が地元住民や漁業者、関係者の気持ちをうけとめ信頼関係を構築するよう働きかけてください。現状でのアルプス処理水の海洋放出には反対であることを表明してください。

氏名	住所

【呼びかけ団体】

福島県生活協同組合連合会

福島県福島市仲間町 4-8 ラコパふくしま

【取扱い団体】

福島医療生活協同組合

福島県福島市中江町 66

☎024-522-1236

衆議院議長 様
参議院議長 様

アルプス処理水の海洋放出に反対する署名

国は、福島県の漁業者、福島県民、そして広く国民の理解を得ないままアルプス（多核種除去装置）処理水の海洋放出を決定しました。

アルプス処理水の長期間の放出は、10年前に壊滅的打撃を受けた福島県の漁業を、ふたたび深刻な状況に陥らせることとなります。また大量のトリチウムを海洋に放出することは、海洋生態系への影響に関し未知であり、冷静な対応が求められています。

廃炉の完了と福島第一原発事故からの復興の道は長く、そのようななかでは、国と東京電力は口先だけでなく、覚悟をきめて、地元住民や被害を被った関係者との信頼関係をつくりあげなければなりません。しかし最初から「放出の先送りはできない」とし関係団体との対決をあらわにしました。最悪の事態といえます。

《要請事項》

国は、これまでの10年間を振り返り、被害者との信頼関係が廃炉や原発事故からの復興の基本であるとの理解に立ち返ってください。信頼関係がなければ不信や不安を引き起こし、県民と漁業者との関係を一層こわすこととなります。アルプス処理水の海洋放出はしないでください。

氏名	住所

【呼びかけ団体】

福島県生活協同組合連合会

福島県福島市仲間町 4-8 ラコパふくしま

【取扱い団体】

福島医療生活協同組合

福島県福島市中江町 66

☎024-522-1236